

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

- (1) 期日 令和4年4月19日(火)
- (2) 調査対象 丹波市立黒井小学校 第6学年
- (3) 調査事項
 - ①教科調査〔国語科、算数科、理科〕質問紙調査
 - ②質問紙調査

2 国語科の調査結果

国語科では、知識・理解及び思考力と思考力・判断力・表現力等（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）を選択式、短答式、記述式で解答する調査でした。

本校の結果については、「言語や文化に関する事項」や「書くこと」において力がついていることがわかりました。特に、「書くこと」に関する問題においての記述式の解答では、正答率が高く、日ごろのノートづくりや作文の学習等での成果がでたものと考えます。「言語に関する事項」についても、昨年に引き続き、「我が国の言語文化に関する事項」においての正答率が高く、週末毎の課題である「言葉のプリント」等の効果がでていいるものと考えます。

一方、「話すこと・聞くこと」、「言葉の特徴、使い方」については、課題が見られました。「話し言葉と書き言葉との違いを理解する」ことや「必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える」「学年別に配当された漢字」などについては、今後の授業や家庭学習において意識をして伸ばしたいところです。

3 算数科の調査結果

算数科においては、「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」について国語と同じ選択式、短答式、記述式で解答する調査でした。

結果から「図形」について比較的力がついてきていることがわかりました。体験的な活動や日常生活で学習したことを活用することは、どの学年においても大切にしているところですが、特に「変化と関係」の領域については、これまで積み上げてきました力をさらに伸ばしたいと考えます。また、学校において毎日継続しているスキルタイムでの成果も知識・技能に現れて来ています。計算問題でも粘り強く最後まで取り組める児童が増えてきていると考えます。

「百分率で表された割合を分数で表すこと」や「百分率で表された割合と基準量から比較量を求めることができる」など「変化と関係」の領域で課題が見られました。問題場面の「数量の関係」に着目し、基準になる量、比較量、割合の関係や伴って変わる二つの数量の関係について考察する力を今後伸ばしていくことが大切だと考えます。個別の学習状況を把握し適切に支援できるようにします。

4 理科

理科では、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とする領域について選択式、短答式、記述式で解答する調査でした。理科は3年に1度の調査となり、経年での結果比較ができないこととなります。本校の結果は、「エネルギー」を柱とする領域や「地球」を柱とする領域において力がついていることがわかりました。特に、具体的な実験器具に関する問題においての正答率が高く、日ごろから興味関心を持って実験・観察し、主体的に学習できていることがわかりました。また、「自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる」ことについてもよい結果でした。

「実験や観察などから得た情報を他者の視点で分析し、自分の考えをもち、その内容を記述できる」ことや「実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる」ことについては課題がありました。実験や観察後の対話的な学習についての指導を充実させて行きたいと考えています。

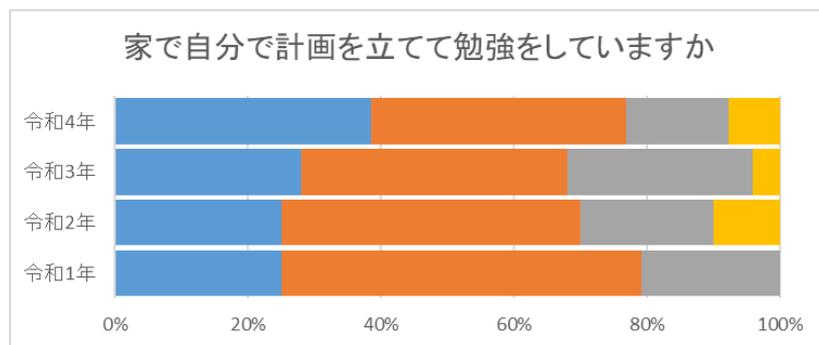
5 児童質問紙調査結果

これからの社会を生きていく子どもたちを育むために、「主体的」「対話的」な「深い学び」の充実が求められています。子どもたちが、学校や家庭において主体的に取り組み、多様な他者との対話や本などの資料を活用し、学んだことをより深い「学び」にしていける必要があります。

児童質問紙75項目の中から、本校児童の主体性や対話的な学び方、深い学びの状況について報告いたします。

(1) 主体的な学び…学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。

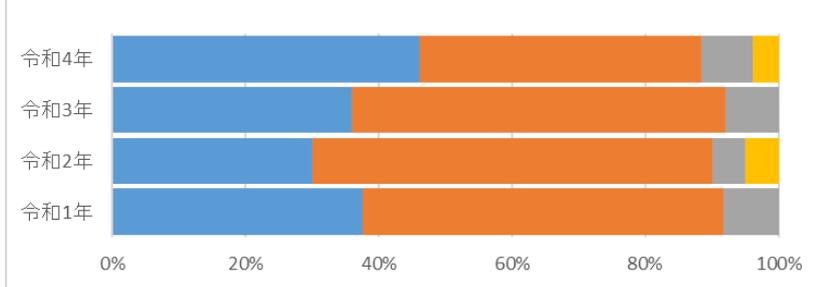
質問：家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



(2) 対話的な学び…子ども、教職員や地域の人との対話、書物の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

質問：学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

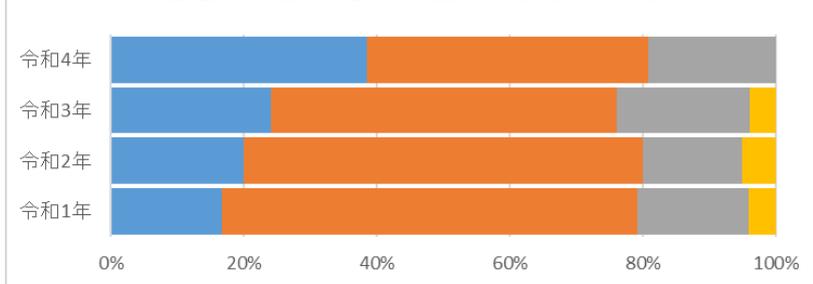
学級の友達との間で話し合う活動



(3) 深い学び…学びの過程の中で、知識を関連付けてより深く理解したり、情報を精査し考えを形成したり、問題の解決策を考えたり、創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。

質問：総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか

課題を立て情報を集め整理し発表する学習



黒井小学校では、これから社会で生きていく子どもたちに

- ア 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができること（人間関係形成・社会形成能力…対話的な学びと関連）
- イ 自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとすること（自己理解・自己管理能力…主体的な学びと関連）
- ウ 様々な課題を発見し、適切な計画を立ててその課題を人と協力して解決することが、できること（課題対応能力…深い学びと関連）
- エ 自らが果たすべき様々な立場や役割を踏まえて人のために行動すること（深い学びと関連）

などが求められると考えられることから、これらの力を発達段階に応じて身につけさせ、自身の成長を実感させていく教育活動を実践していきたいと日々取り組んでいます。 取組をとおして自身の成長を感じさせ、主体的な学びへ結び付けていくために子どもたちの「自己効力感」を大切にしたいと考えます。